Ｓ－ステージ・ボアアップキット（１１５ｃｃ）

取扱説明書

商品番号	：０１－０５－５０８
適応車種	フレーム番号
Ａｐｅ１００	：HC07-1000001～
	：HC13-1000001～
ＸＲ１００Ｒ	：HE03-1200001～

・このたびは、TAKEGAWA 商品をお買い上げ頂きましてありがとうございます。使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。
・取り付け前には、必ずキットをお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

！使用燃料についてのご注意！

このキットはノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用された場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。キット取り付け前に燃料タンクに残っているガソリンにもご注意下さい。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

！スパークプラグについてのご注意！

スパークプラグは必ず、ＣＲ８ＨＳＡ（ＮＧＫ）または、Ｕ２４ＦＳＲ－Ｕ（ＤＥＮＳＯ）に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、当社は賠償の責を一切負いかねます。
◎このキットを取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。
◎商品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。
◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。
◎このキットは、上記適応車種、フレーム番号の車両専用品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意下さい。
◎このキットの取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあったホンダ純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。
◎取り付けの際には、下記記述の工具等を準備し、取付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書やホンダ純正サービスマニュアルは基本的な技能や知識を持った方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
◎Ａｐｅは、このキット単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
Ａｐｅ１００：ＨＣ０７－１６００００１～及びＨＣ１３－１０００００１～のフレーム番号の車両はキャブレターを交換するとエキゾーストマフラーのフィードパイプステーが干渉します。取りつけには、フルエキゾーストマフラーに交換が必要です。
注）ＨＣ０７－１６００００１～及びＨＣ１３－１０００００１～のフレーム番号の車両に、ＨＣ０７－１０００００１～１５９９９９９までの対応マフラーを使用して公道走行した場合、道路運送車両法に適合しない場合があります。マフラーを変更して公道走行する場合、必ずフレーム番号に適合したマフラーをご使用下さい。
◎Ａｐｅのさらなるパワーアップには、当社製マフラーをお勧めします。
◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。
◎液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路を防ぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。
◎この製品を取り付けるには、別途、Ｌ.クランクケースカバーガスケット（ホンダ品番　１１３９４－ＫＮ４－７５０）が必要です。別途お買い求め下さい。

⚠注意　下記事柄を無視した取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

・一般公道では、法定速度を守り遵法運転を心掛けて下さい。
（法定速度を越える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。）
・作業等を行う際は、必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。（火傷の原因となります。）
・作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。（部品の破損、ケガの原因となります。）
・規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行って下さい。（ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。）
・製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行って下さい。（ケガの原因となります。）
・走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。
（部品の脱落の原因となります。）
・ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

⚠警告　下記事柄を無視した取扱をすると、人が死亡したり重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

・エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。
（一酸化炭素中毒になる恐れがあります。）
・走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。（事故につながる恐れがあります。）
・作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行って下さい。（作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。）
・点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。
（不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。）
・点検、整備等を行った際、損傷部品が見つかれば、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行って下さい。
（そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。）

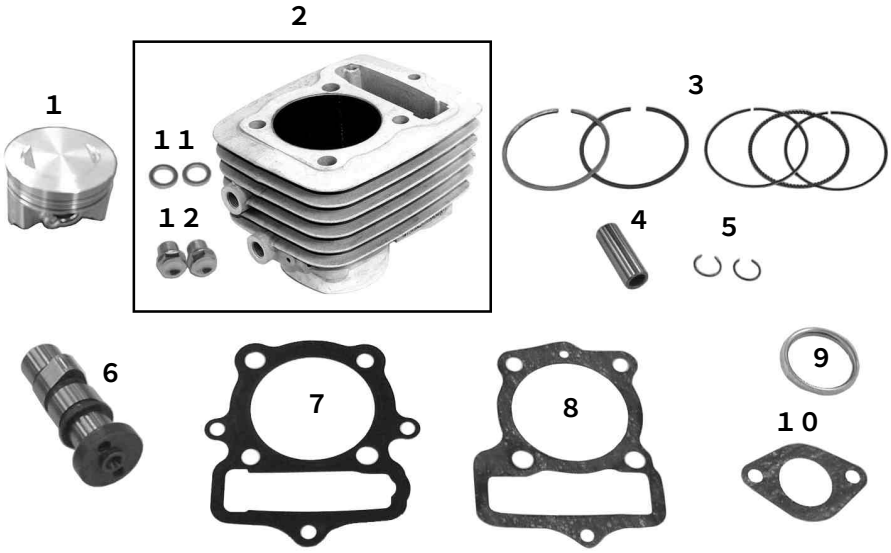
◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で商品および価格は予告無く変更されます。あらかじめご了承下さい。
◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた商品に対してのみ、お買い上げ後１ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。
◎この取扱説明書は、本商品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

Dec./18/ 08

ネジについて

◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すとゆるみ、時計方向に回すと締まります。
◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から３～４回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
◇ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、当社では責任を負いません。トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

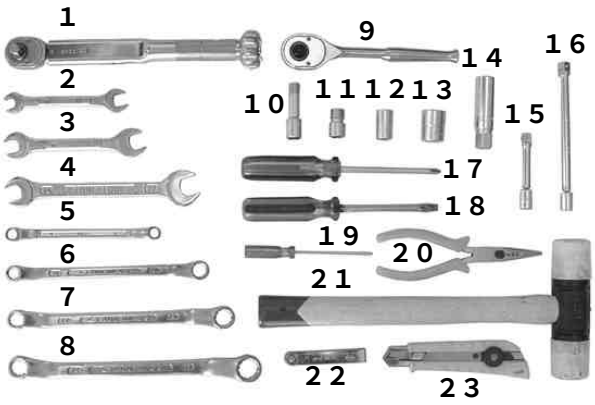
～商品内容～



番号	部　品　名	個数	リペア品番	入数
1	ピストン　５７mm	1	１３１０９－ＧＰＨ－Ｔ１０	1
2	シリンダーＣＯＭＰ．５７mm	1	１２１００－ＫＮ４－Ｔ００－Ｃ	1
3	ピストンリングセット　５７mm	1	１３０１１－ＧＥＹ－Ｔ００	1SET
4	ピストンピン　１４mm	1	１３１１１－ＫＮ４－Ｔ０１	1
5	ピストンピンサークリップ　１４mm	2	００－０１－００５２	6
6	カムシャフト　Ｘ２０Ｅ６８	1	０１－０８－０４２	1
7	シリンダーヘッドガスケット	1	０１－１３－０２２	1
8	シリンダーガスケット	1		1
9	エキゾーストパイプガスケット	1		1
１０	インレットパイプガスケット	1		1
１１	シーリングワッシャ	2		2
１２	オイルプラグボルト	2	９０１４５－ＧＥＹ－Ｔ００	1

※リペアパーツはリペア品番にてご発注下さい。尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品にてご注文下さいます様お願い致します。

～取り付けに使用する工具等～



1	トルクレンチ	１６	エクステンションバー中
2	スパナレンチ　１０－１２mm	１７	ドライバープラス小
3	スパナレンチ　１２－１４mm	１８	ドライバーマイナス小
4	スパナレンチ　１４－１７mm	１９	細軸ドライバーマイナス
5	メガネレンチ　８－９mm	２０	ラジオペンチ
6	メガネレンチ　１０－１２mm	２１	プラスティックハンマー
7	メガネレンチ　１２－１４mm	２２	シックネスゲージ
8	メガネレンチ　１４－１７mm	２３	カッターナイフまたはスクレーパー
9	ラチェットレンチ		針金等
１０	ディープソケット　８mm		ウエス
１１	ソケット　１０mm		エンジンオイル
１２	ソケット　１２mm		レーシングスタンド
１３	ソケット　１７mm		ジャッキ等
１４	プラグソケット　１６mm		棒ヤスリ
１５	エクステンションバー小		

Dec./18/ 08

～取り付け要領～

◇フューエルコックをＯＦＦにします。

◇サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。
※作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行って下さい。
※各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら取り外していくようにして下さい。
※取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。
◇チューブクリップをずらし、フューエルチューブの接続を外します。

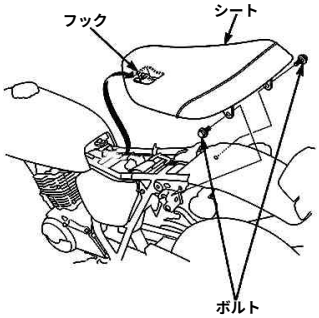
●エンジンの取り外し

①シートとタンクの取り外し

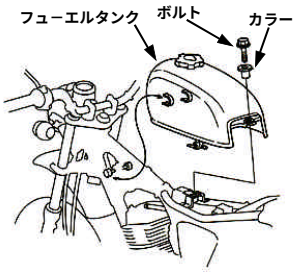
ＸＲ１００Ｒ

※オーナーズ／サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームから取り外します。

◇２本のボルトを取り外します。シートを後方に引いて外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜

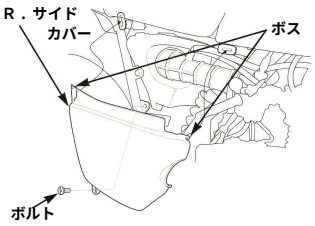


◇ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜

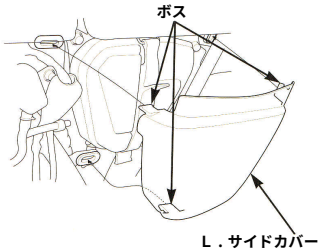


サイドカバーの取り外し

◇右サイドカバーのボルトを取り外します。
ボス２ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



◇左サイドカバーのボス３ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



②キャブレターの取り外し

◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。

◇コネクティングチューブバンドのスクリューをゆるめます。
使用工具　ドライバープラス小

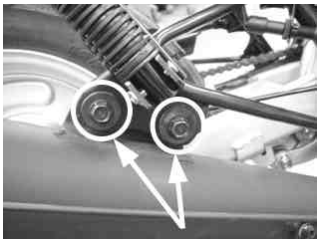
◇ボルト２本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　　８－９㎜

③エキゾーストマフラーの取り外し

◇シリンダーヘッド側のナット２個を取り外します。
使用工具　スパナレンチ　１０－１２㎜

Ａｐｅ

◇マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜



④スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張り、取り外します。
必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。

◇スパークプラグを取り外します。
使用工具　プラグレンチ　１６㎜
　　ラチェットレンチ

⑤接続を外す

◇配線の接続を外します。

◇ワイヤーバンドを外します。

◇ブリーザーホースの接続を外します。
（Ａｐｅの場合）

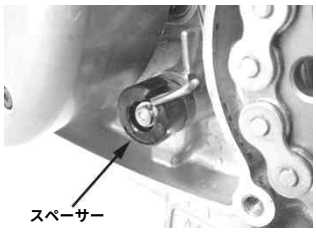
◇クラッチケーブルガイドのナットをゆるめ、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。
使用工具　スパナレンチ　１０－１２㎜
　　スパナレンチ　１２－１４㎜

◇ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。

⑥ドライブスプロケットの取り外し

◇Ｌ.クランクケースカバーのボルト５本を外し、Ｌ．クランクケースカバーを取り外します。
使用工具　ディープソケット　８㎜
　　ラチェットレンチ

◇ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
◇スペーサーを取り外しておきます。



◇ドライブスプロケットの２本のボルトを外し、フィキシングプレートとドライブスプロケットを取り外します。
使用工具　ソケット　１０㎜
　　エクステンションバー 小
　　ラチェットレンチ

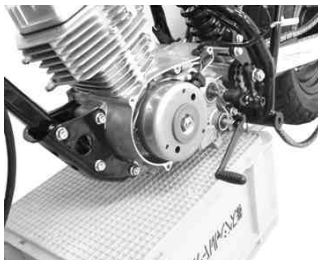
⑦Ｌ．ステップの取り外し

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。

◇ボルト２本を取り外し、Ｌ．ステップを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１４－１７㎜

⑧エンジンの取り外し

◇エンジン下部にジャキや適当な台等を置き、エンジンを支えます。

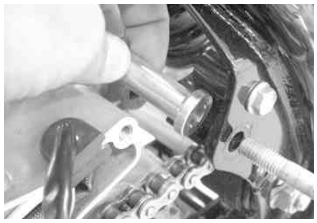


◇フロントエンジンハンガーのナット４個を取り外し、ボルト４本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ソケット　１２㎜
　　ラチェットレンチ

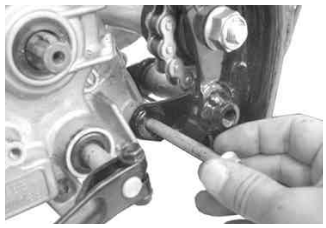
◇リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ソケット　１２㎜
　　エクステンションバー 中
　　ラチェットレンチ

◇下側のナットを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ソケット　１２㎜
　　エクステンションバー 小
　　ラチェットレンチ

◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラー（Ａｐｅの場合）とクラッチケーブルガイドを取り外します。



◇下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



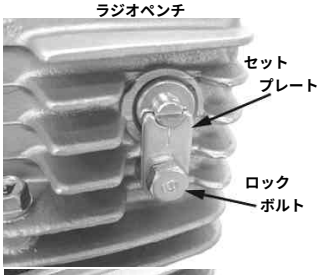
●シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

①シリンダーヘッドの取り外し

◇シリンダーヘッドカバーボルト２本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜

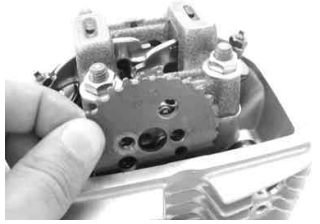
◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの六角ボルト２本をゆるめておきます。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ソケット　１７㎜
　　ラチェットレンチ

◇ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ラジオペンチ



◇カムスプロケットの六角ボルト２本を取り外します。

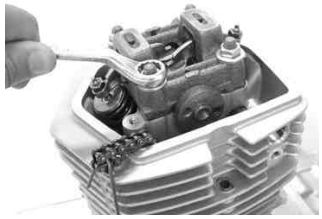
◇カムスプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。

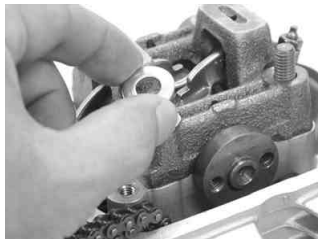


◇カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。

◇シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜

◇カムシャフトホルダーナット４個を対角に数回に分けてゆるめてワッシャ４個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜





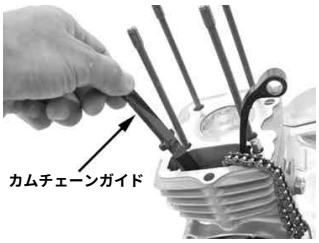
◇シリンダーヘッドを取り外します。

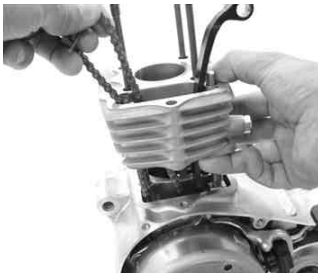
◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておきます。

◇シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。

②シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、シリンダを抜き取ります。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)

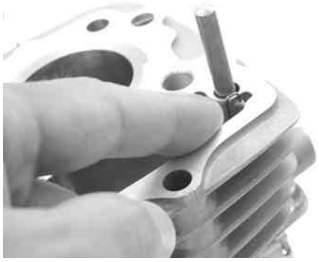




◇ノックピン２個は、再使用するので取り外しておきます。

◇ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ドライバーマイナス 小

◇スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。

③ピストンの取り外し

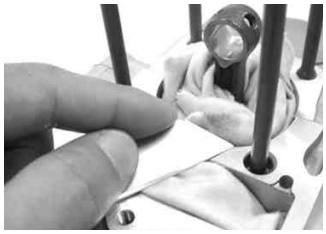
◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。
※ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじるようにすると外れます。
使用工具　細軸ドライバーマイナス又は、
　　ラジオペンチ

◇サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押して外します。

◇ピストンが外れます。

④取り付け面をきれいにする

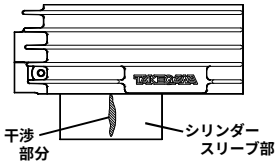
◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。



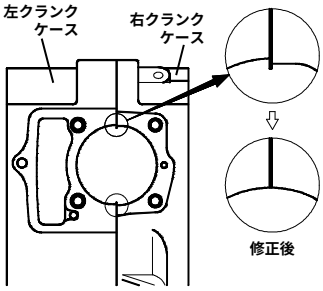
◇ウエスできれいに拭き取ります。

●クランクケースの修正

※シリンダーをクランクケースに取り付ける際、左右クランクケースのズレ等により、シリンダースリーブ部とクランクケーススリーブホール部が干渉する場合があります。干渉した状態で使用するとスリーブが変形し、エンジントラブルの原因となりますので必ず点検して下さい。



◇クランクケース内に削り粉が入らないようにしっかりとウエスを詰めます。
◇左右クランクケースのズレの出っ張っている部分を削り、引っ込んでいる部分と同じ高さにします。
◇削り終わったら削り粉がクランクケース内に入らないように慎重にウエスを取り除きます。



◇きれいなウエスをスリーブホールに詰めておきます。
◇キットを取り付けた後にエンジンをアイドリングで数分かけ、すぐにエンジンオイルを新品に交換して下さい。

●Ｓ - ステージキットの取り付け

①ピストンの取り付け

◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

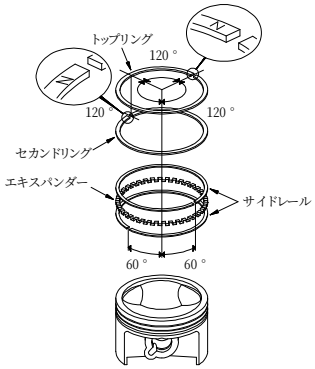
※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

使用工具　細軸ドライバーマイナス又は、
　　ラジオペンチ

◇図を参考にしてピストンリングを取り付けます。

ピストンリングの色
　ＴＯＰ：ゴールド
　２ＮＤ：ブラック



◇オイルリングエキスパンダーを入れます。

◇下オイルリングサイドレールを入れます。

◇上オイルリングサイドレールを入れます。

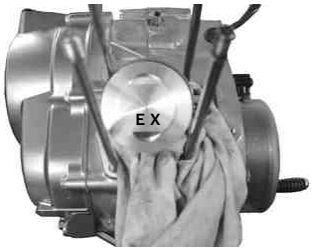
◇“Ｎ”の文字を上にして、セカンドリングを入れます。

◇“Ｎ”の文字を上にして、トップリングを入れます。

◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。

◇コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。

◇ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストンの上面のＥＸが、前(排気側)を向くようにピストンを取り付けます。



◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。

※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて取り付けて下さい。

※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。

※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。

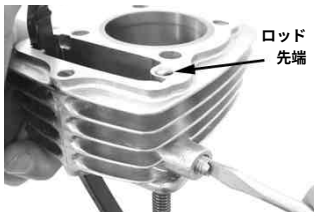
使用工具　細軸ドライバーマイナス又は
　　ラジオペンチ

②シリンダーの取り付け

◇カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。

◇カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。
アジャストボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。

使用工具　ドライバーマイナス 小
　　メガネレンチ　１０－１２㎜

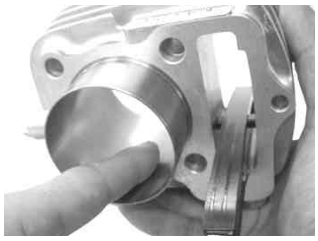


◇詰めていたウエスを取り外します。

◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。

◇ノックピン２個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。

◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



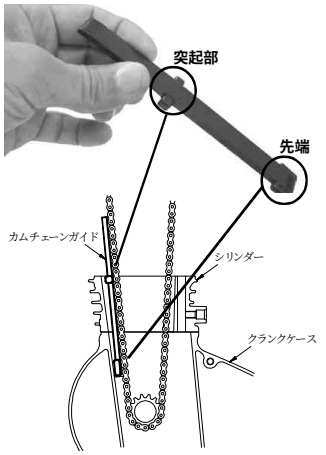
◇ピストンの全周面と､ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。

◇シリンダーを入れていきます。

◇シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。

◇ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。

◇カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わすようにして差し込みます。



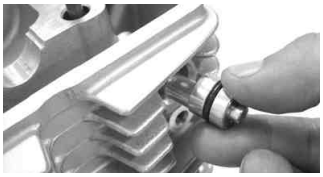
③シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。

◇ノックピン２個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。

◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。

◇アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを仮止めします。

◇シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしておきます。

④カムシャフトとカムスプロケットの取り付け

◇カムシャフトとカムシャフトホルダー及びロッカーアームの確認作業を行います。
（キット内のカムシャフトは、ノーマルカムシャフトに比べリフト量を増やしています。その為、カムシャフトホルダー及びロッカーアームの寸法誤差により、カムシャフトと干渉する物があります。必ず確認作業を行って下さい。）

◇カムシャフトホルダーに、キット内のカムシャフトを合わせ、カムシャフトのカム山と、カムシャフトホルダー及びロッカーアームが干渉していないか確認します。

◇干渉が無い場合は、そのまま取り付け作業を行います。
※干渉がある場合は、カムシャフトホルダー及びロッカーアームの干渉部分を削り、修正します。以下◆の作業を行って下さい。

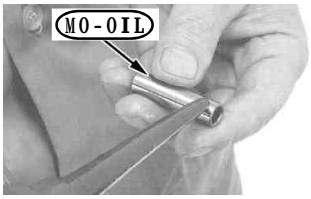
◆カムシャフトホルダーからロッカーアームシャフトを抜き取りロッカーアームを取り外します。

◆干渉部分を削り、修正します。
使用工具
カムシャフトホルダー修正
：棒ヤスリ／
エアーリューター又は電気リュ―ター
ロッカーアーム修正
：エアーリューター又は電気リュ―ター／
ダイヤモンドヤスリ

⚠注意：必要外の部分は削ら無い事。
⚠注意：カムシャフトホルダージャーナル部、ロッカーアーム取り付け部、シリンダーヘッド取り付け面にキズ等を付けない様、注意して作業を行う事。
⚠警告：リュ―ターを使用する場合、キリコが目に入らない様、必ず目を保護して作業を行う事。

◇削り修正後、バリやカエリが無いかを確認し、洗浄します。

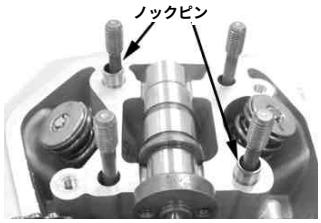
◆ロッカーアームシャフトにモリブデン溶液を塗布し、カムシャフトホルダーにロッカーアームを取り付けます。



◆カムシャフトホルダーにカムシャフトを合わせカム山との干渉がないか再度確認します。

◇キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。カムシャフトのカム山は下側に向けておきます。

◇ノックピン２個を取り付けます。

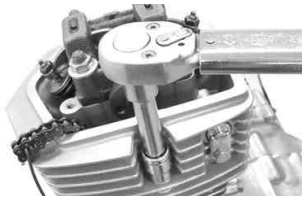


◇カムシャフトホルダーを取り付けます。

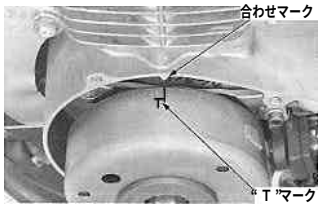
◇ワッシャ４個を取り付けます。

◇ナット４個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。
使用工具　ソケット　１２㎜
　　トルクレンチ
規定トルク　２０N･m（２．０kgｆ･m）

◇仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。
使用工具　ソケット　１０㎜
　　エクステンションバー　小
　　トルクレンチ
規定トルク　１２N･m（１．２kgｆ･m）

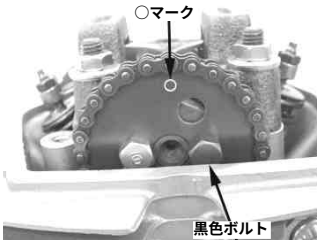


◇フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの“▽”マークに合っているか確認します。



◇カムスプロケットの“Ｏ”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。

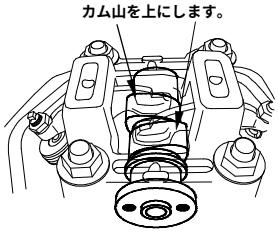
◇フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、六角ボルトを取り付けやすくします。
◇カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて六角ボルト２本を手で締め込み、仮り止めします。このとき、ノックボルト（黒色ボルト）をインテーク側に取り付けて下さい。



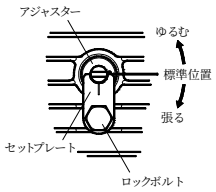
◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの六角ボルト２本を締め付けます。
使用工具　ソケット　１０㎜
　　トルクレンチ
　　メガネレンチ　１４－１７㎜
規定トルク　１２N･m（１．２kgf･m）

⑤カムチェーンの調整

※カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。
◇フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。

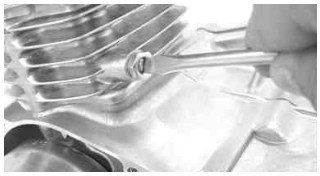


◇フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“ｏ”マークを張る方向やゆるむ方向にまわしてみます。
使用工具　ドライバーマイナス 小



◇ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。
使用工具　ソケット　１０㎜
　　トルクレンチ
規定トルク　１０N･m（１．０kgf･m）

◇アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。
◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットをゆるめ、アジャストボルトを少しだけゆるめます。



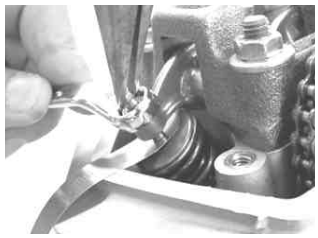
◇マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。
使用工具　ドライバーマイナス 小
　　ソケット　１２㎜
　　トルクレンチ
規定トルク　１２N･m（１．２kgｆ･m）

◇再びアジャスターをまわして、ガタが無く、フライホイールが重くならないところを探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

⑥バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向にまわして、カムスプロケットの“Ｏ”マークが真上を向き、フライホイールの“Ｔ”マークがクランクケースの“▽”マークに合う位置で止めます。
◇アジャストスクリューとバルブ端面の間（バルブ隙間）に０．０５mmのシックネスゲージを差し込みます。
使用工具　シックネスゲージ

◇引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。
使用工具　　シックネスゲージ
　　メガネレンチ　　８－９㎜
ＸＲ１００　ラジオペンチ
Ａｐｅ　　ドライバーマイナス 小
規定トルク　１０N･m（１．０kgｆ･m）



◇ナットを締め付け後、０．０５mmのシックネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。
◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。

◇シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト２本でシリンダーヘッドに取り付けます。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
規定トルク　１２N･m（１．２kgｆ･m）

●エンジンの取り付け

①エンジンの取り付け

ＸＲ１００Ｒ

※オーナーズ／サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。
◇エンジン下部にジャキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。
◇リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。

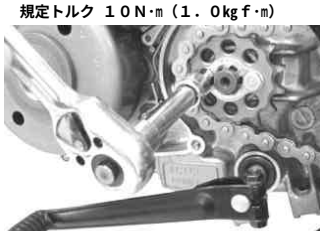
◇カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。

◇ナット２個を仮止めします。

◇フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト４本を左側から差し込み、ナット４個を仮止めします。

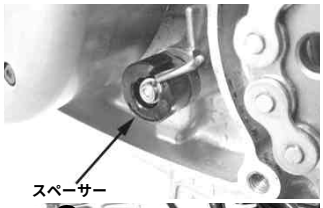
◇ドライブチェーンを取り付けたドライブスプロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。

◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮り止めしたリアエンジンマウントのナット２個と、フロントエンジンハンガープレートのナット４個を本締めします。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
　　ソケット　１２㎜
　　エクステンションバー　小
　　エクステンションバー　中
　　ラチェットレンチ
規定トルク
　リアエンジンマウントナット
　　：４４N･m（４．５kgｆ･m）
　フロントエンジンハンガープレートナット
　　：２６N･m（２．７kgｆ･m）
◇フィキシングプレートをカウンターシャフトに差し、ドライブスプロケットのボルト穴に合わせて、ボルト２本を取り付けます。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
規定トルク　１０N･m（１．０kgｆ･m）



②Ｌ.クランクケースカバーの取り付け

◇Ｌ．クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。
◇スペーサーを取り付け、Ｌ．クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト５本でクランクケースに取り付けます。
使用工具　８㎜ディープソケット
　　ラチェットレンチ
規定トルク　１２N･m(１．２kgｆ･m)



③Ｌ．ステップの取り付け（Ａｐｅの場合）

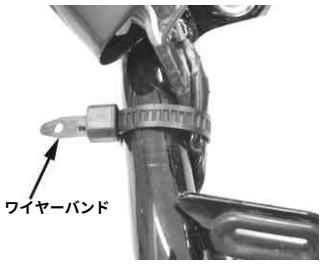
◇Ｌ．ステップをボルト２本でフレームに取り付けます。
使用工具　メガネレンチ　１４－１７㎜
規定トルク　２６N･m（２．７kgf･m）

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。

④接続

◇配線の接続を行います。

◇ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。
（Ａｐｅの場合）

◇リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。
使用工具　スパナレンチ　１０－１２㎜
　　スパナレンチ　１２－１４㎜

⑤スパークプラグの取り付け

◇スパークプラグを、まず手で締め込みます。
◇プラグレンチを用いて締め付けます。
使用工具　プラグレンチ　１６㎜
　　ラチェットレンチ
規定トルク１４N･m(１．４kgｆ･m)

◇プラグキャップを取り付けます。

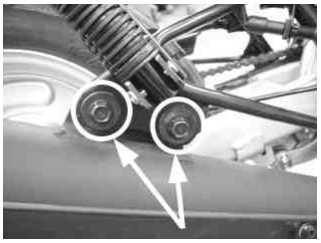
⑥エキゾーストマフラーの取り付け

ＸＲ１００Ｒ

※オーナーズ／サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。
◇シリンダーヘッド側のナット２個を仮止めします。
使用工具　スパナレンチ　１０－１２mm

Ａｐｅ

◇マウントボルトとワッシャを仮止めします。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２mm
　　メガネレンチ　１４－１７mm



◇仮止めした２ヶ所を本締めします。
規定トルク　ナット２個
　　：１２N･m（１．２kgf･m）
　マウントボルト
　　：２０N･m（２．０kgf･m）

⑦キャブレターの取り付け

Ａｐｅ

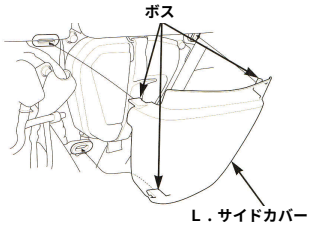
※このキットはノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
※取り付けは、キャブレターキットの説明書を参照して下さい。

ＸＲ１００Ｒ

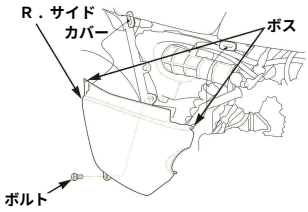
※オーナーズ／サービスマニュアルの指示に従いキャブレターを取り付けます。

●サイドカバーの取り付け（Ａｐｅの場合）（ＳＴＤエアークリーナーＢＯＸ使用時）

◇左サイドカバーのボス３ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。

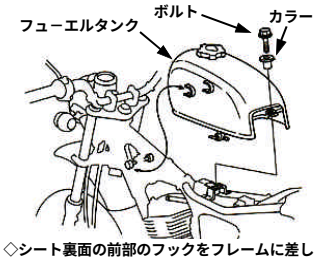


◇右サイドカバーのボス２ヶ所をフレームに差し込み、ボルトを取り付けます。

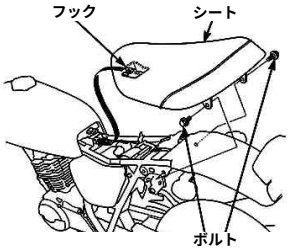


⑧シートとタンクの取り付け（Ａｐｅの場合）

◇フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
規定トルク　２６N･m（２．７kgf･m）

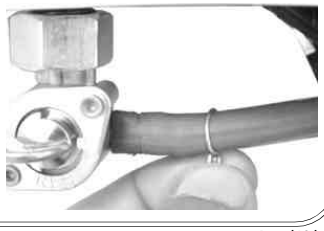


◇シート裏面の前部のフックをフレームに差し込み、２本のボルトでフレームに取り付けます。
使用工具　メガネレンチ　１０－１２㎜
規定トルク　２６N･m（２．７kgf･m）



●フューエルホースの接続

◇フューエルコックにフューエルチューブを接続し、チューブクリップで固定します。



☆エンジン始動

o イグニッションキー、ガスコックがＯＦＦになっているのを確認し、スパークプラグを取り外します。

o しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に行きわたらせます。

o スパークプラグを取り付け、ガソリンコック、イグニッションキーをＯＮにし、エンジンを始動させます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事

⚠警告：必ず換気のよい場所で行う事

o 異音など異常が無いか確認します。

o 異常が無ければ１００ｋｍ～１５０ｋｍ位までは慣らし運転を行います。

o 慣らし運転終了後、異音やブローバイなど異常が無いかを確認します。
（異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。）

⚠警告：ピストンピンサークリップは再度使用しない事。

⚠注意

o エンジン組み付け時､規定トルクで締め付けているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んでくる場合がありますので､定期的に各ボルト､ナット類を増し締めして下さい。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②スプロケット（Ａｐｅのみ）

スプロケットは、用途に合わせて調整して下さい。ただし、あまりローギヤすぎる設定は、各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジン破損してしまう恐れがあります。適切な設定でご使用下さい。

●その他

①オイルクーラー（Ａｐｅのみ）

このキットを取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキット（０９－０７－１２１：ブラックコア、０９－０７－２２１:シルバーコア、０９－０７－２０８：ソリッド）の装着をお勧めします。

②カムチェーン

出力アップ、エンジン発熱量の増大に伴い、当社製ソリッドカムチェーン、ダイハードα（０１－１４－００５）の使用をお勧めします。

③温度計

このキットのシリンダーサイド部にはスティックタイプの温度センサーが取り付け出来ます。
当社製の下記メーターが使用出来ます。
・ミディアムＬＣＤタコメーター＆温度計：０９－０５－０１４１（１５０ ℃表示）
・デジタル温度計　　：０７－０４－０５３　（　９９ ℃表示）

株式会社 SPECIAL PARTS 武川
〒５８４－００６９　大阪府富田林市錦織東三丁目５番１６号
TEL ０７２１－２５－１３５７　FAX ０７２１－２４－５０５９
お問い合わせ専用ダイヤル　０７２１－２５－８８５７
URL http://www.takegawa.co.jp